

2017年6月4日 産経新聞

横浜・日枝小で「力士とあそぶ会」

国技である相撲に親んでもらおうと、横浜市立日枝小学校（同市南区山王町）で3日、時津風部屋の力士と交流する「力士とあそぶ会」（国際キワニス日本地区関東ディビジョン主催）が開催された。

同小の児童や地域住民ら約900人が参加。力士との相撲体験では、力士1人に4、5人の児童が挑んだ＝写真。力士に軽々と持ち上げられるなど、力強さに驚きつつも力を合わせて勝利。同小1年の秋元陸希くん（6）は「すごく強かったけど、怖くはなかった。力士になりたいと思った」と笑顔で話した。

横浜市瀬谷区出身で、兄弟で同部屋に所属する濱豊関（21）と早坂仁希さん（15）も登場。早坂さんは「子供たちは意外と力が強くてびっくりした。自分も楽しい時間を過ごせました」と汗をぬぐった。

持ち上げられ「強かった」



昼食として力士が作ったちゃんこ鍋も振る舞われるなど、会場はにぎわいをみせた。